

なんじゃもんじゃ地域版

上対馬病院基本理念

地域の健康な生活を守る使命の達成のため
職員ひとりひとりが自覚と責任を持ち
心のふれあいのある
患者様の側に立った医療の実践を行なう

発行:上対馬病院地域連携室・広報部 ホームページ <http://www.kamibyo.jp>



年頭挨拶



明けましておめでとうございます。なんじゃもんじゃ地域版の読者の皆様には、良いお正月をお迎えのことと思います。

昨年では日本では大変不幸な未曾有の大地震がありました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様にとりまして、今年が少しでも復興に向けて希望ある良い年になることをお祈り申し上げます。

昨年の上対馬病院は医師の採用が困難な中、11月より整形外科の常勤医が確保できました。整形外科の常勤は地域の希望で大変喜ばしい出来事でした。また、医療機器におきましては、CTの更新が完了いたしました。さらに、フィルムレス情報システムを導入し、運用を開始しています。上対馬の医療の質の向上が図れていると考えています。

今年は透析施設の増改築を考えております。新しい透析施設が完成しますと、毎年増加している透析患者様の受け入れが十分可能となります。また、現在、遅くまで透析を受けている患者様が昼までに透析を終えることができるようになります。

上対馬の住民の皆様には、まだまだ十分満足いただけてはいない現状ですが、毎年、少しずつではありますが、上対馬病院も進歩してきています。

今年も上対馬病院をよろしくお願い申し上げます。

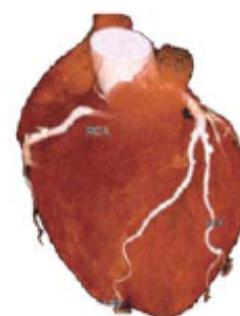
今年が、皆様にとりまして、良い年となりますことを祈念いたします。

上対馬病院長 立花 一憲



心臓CTのお知らせ

この度、対馬いづはら病院の内科白川先生のご協力により、当院でも新型CTを用いた心臓の検査・診断が出来るようになりました。主に心臓の栄養血管である冠動脈の狭窄を評価することを目的とし、不整脈が強い方、息止めが出来ない方、安静が困難な方などを除き、全ての患者様に対して検査可能です。なお、画質と被曝の面から、心拍が高めの方は検査前にβブロッカー製剤を使い脈を落とさせて頂きます。



安静を保てない急性心筋梗塞の方には検査できませんが、スクリーニング、切迫していない胸痛の方、他院で心臓カテーテル検査した後のフォローアップと、多くの方に恩恵をもたらすものと期待しています。

上対馬病院 放射線科

なんじゃ

明けましておめでとうございます。2012年も皆様にとって明るく良い年でありますように。本年も上対馬病院なんじゃもんじゃ地域版をどうぞよろしくお願い致します。

地域版編集長 早田 裕美